

令和 8 年度 第 1 回知立市図書館協議会 議事録

日時・場所

令和 8 年 7 月 1 7 日（金） 午後 2 時～ 3 時 4 5 分

知立市図書館 2 階 視聴覚室

出席者（敬称略、順不同）

委 員：永尾 健一、山口 久実子、橘 玲子、近藤 博子、加古 美江子、豊田 一代、
鈴木 加代子、高松 宏樹

事務局：宇野教育長、大山教育部長、藤田文化課長、野畑図書係長、野村担当係長、
新庄主事

1. 開会

あいさつ 教育長

2. 自己紹介

各委員の紹介

3. 会長 副会長の選任

事務局：知立市図書館管理規則第 2 5 条第 1 項により会長、副会長を委員の互選で定めること。また、同条第 2 項により任期は 1 年となっております。

初めに会長職の選任をお願いします。どなたか立候補もしくは推薦のご意見はございませんか。

委 員：前回に引き続き、近藤委員を推薦します。

事務局：会長職に近藤委員との推薦がございましたが、いかがでしょう。それでは、近藤委員の会長就任に賛成の方は拍手をもってご承認をお願いします。

委 員：（拍手あり）

事務局：ありがとうございました。ご承認いただきましたので、近藤委員に会長職をお願いいたします。

続きまして、副会長職の選任をお願いします。どなたか立候補もしくは推薦の意見はございませんか。

会 長：副会長には鈴木委員を推薦します。

事務局：副会長職に鈴木委員との推薦がございました。それでは、鈴木委員の副会長就任に賛成の方は拍手をもってご承認をお願いします。

委 員：(拍手あり)

事務局：ありがとうございました。ご承認いただきましたので、鈴木委員に副会長職をお願いいたします。

4. 会長 副会長あいさつ

会 長：(挨拶)

副会長：(挨拶)

5. 協議事項

事務局：ありがとうございました。それでは議事に入ります。ここからの進行につきまして、近藤会長をお願いいたします。

(1) 令和7年度事業実績報告について

(事務局から説明)

会 長：事務局から説明が終わりました。何か質問はございませんか。

委 員：手話講座を実施したとのことですが、職員の中に手話のできる方はいらっしゃいますか。また、職員も一緒に受講したのでしょうか。

事務局：定員に余裕があれば職員も参加したいと考えていましたが、大変好評で、参加希望者が定員を大きく上回ったため、令和7年度は職員が受講できませんでした。

委員：図書館を訪れる方の中には、聴覚に障がいのある方もいらっしゃると思います。筆談でも対応できますが、職員の中に手話のできる方がいるとよいと思いました。簡単な挨拶程度でもよいと思います。

事務局：今年度も実施を予定しているため、定員に余裕があれば職員も受講したいと考えています。

会長：ありがとうございました。

他に質問がないようでしたら、（１）令和７年度事業実績報告についてご承認いただける方は拍手でもって承認をお願いします。

委員：（拍手あり）

会長：承認されました。

続きまして、（２）令和８年度の事業計画（案）について事務局から説明をお願いします。

事務局：（説明）

会長：事務局からの説明が終わりました。何か質問はありますか。

委員：（質問なし）

会長：その他いかがでしょうか。

それでは、令和８年度の図書館の事業計画については、進んでいるものもありますが、これからのものについては、この案のように進めていくということをお願いします。

次に、次第６の報告事項に移ります。事務局から説明をお願いいたします。

事務局：（説明）

会長：報告事項の説明が終了しました。何か質問等はありませんか。

委員：第４次知立市子ども読書活動推進計画の４０ページ（２）「児童センター等」の②「蔵書の活用」には「児童センターの蔵書貸出を継続しています。また、主任児童委員所蔵の図書貸出の窓口も継続します」とあります。しかし、現在、主任児童委員の活動

内容を見直し、4月から図書の貸出を中止しています。再開することになった場合は、改めてお伝えします。

事務局：ありがとうございます。

会 長：ほかにありますか。

委 員：私は本を楽しむ会にも所属しており、ビブリオバトルという本の紹介ゲームを行っています。先月、安城市図書館情報館で開催された大会に本会の代表者が出場し、紹介した本がチャンプ本に選ばれました。中日新聞に大きく掲載されたこともあり、先週土曜日の定例会には、通常の約2倍に当たる、小学生から40代、50代までの幅広い年代の方が参加しました。図書館のホームページを見て参加した方もおり、改めて周知の重要性を感じました。

新聞記事は、図書館の協力を得て本会が紹介した本の展示場所に掲示しています。参加した小学4年生と年長児くらいの兄弟は、非常に本が好きで、本を紹介したいとのことでした。本離れが指摘される一方で、本が好きな子どももいます。そのような子どもたちに、ビブリオバトルのような一歩進んだ読書活動があることを、学校などでも紹介していただける機会があるとよいと思いました。

会 長：ありがとうございます。

その他ありますか。よろしいでしょうか。

それでは、昨年度の協議会での指摘事項について、何か事務局から説明するようなことはありますか。

事務局：昨年度の協議会において、こども食堂に図書館の除籍本を提供してはどうかとの意見があり、検討しました。しかし、さまざまなボランティア団体などがある中で、図書館から特定の団体に個別に提供することは、公平性の観点から難しいのが現状です。また、リサイクル本の保管や運搬、残った本の処分について、団体側に負担が生じる可能性もあります。

児童書の除籍本については、学校や保育園を優先して提供しています。

1年分の除籍本をまとめ、年1回、学校や保育園に選んでいただく機会を設けています。そこで残った本については、転売や大量の持ち出しをしないことを条件に、一般の方にも自由に持ち帰っていただいています。

ボランティア団体や地域で活動する団体から活用の要望があった場合は、一般配布の開始時期を案内し、団体として通常より多く持ち帰っていただく対応であれば可能であると考えています。

以上、昨年度の指摘事項に対する報告です。

会 長：除籍本の取扱いについての説明でした。ただいまの説明について質問等がありますか。

その他にご意見がないようでしたら、せっかくの機会ですので、お気づきの点や改善したほうがいい点についてなど何でも結構ですので、一人ずつご意見をお願いしたいと思います。 それでは、順番にお願いします。

委 員：私も家族も図書館をよく利用しています。各種行事にも申込みますが、気がついた時には既に定員に達していることが多くあります。同様に、行事を知って参加したいと思っても、既に定員に達していた経験を持つ家庭は多いと思います。

人気のある行事については、受入人数を増やすことや、周知方法についても工夫することを検討していただきたいと思います。

事務局：ご意見ありがとうございます。

委 員：子どもが陸上競技に取り組んでいます。6月には、新しくなった名古屋市瑞穂公園陸上競技場で日本選手権が10年ぶりに3日間開催されました。また、9月10月にはアジア・アジアパラ競技大会もあり、今年は陸上競技が大いに盛り上がると思っています。

図書館で関連特集が組まれることを期待していましたが、電子図書館にも陸上競技の本が見当たりませんでした。周囲には陸上競技が好きな方も多いため、関連する本を置いていただけたらうれしく思います。

事務局：ご意見ありがとうございます。

委 員：先ほどもおはなしがありましたが、講座の募集は、気付いた時には既に終了していることがよくあります。市のLINEでは、さまざまな行事の情報が配信されています。その中に図書館の募集情報もあれば、利用者へ直接届きます。また、メールやウェブで申し込める仕組みも検討できないでしょうか。

私たちが行うクリスマスのおはなし会は、定員を設けた先着順ですが、図書館へ来館しなければ申し込めません。小さな子どもを連れた方が多いため、メールなどで申し込めるようになれば、参加しやすくなると思います。周知方法と併せて検討していただきたいと思います。

事務局：各種イベントの周知については、図書館が独自に運用するホームページやXでも

情報を発信しています。申込方法について、非常に人気の高い講座では、あえてウェブ申込みを行わない場合もあります。

一方、ウェブ申込みは、若い世代や初めて来館する方が参加しやすいという利点もあります。行事の内容や対象に応じて、申込方法と周知方法を検討いたします。

委員：以前、図書館まつりでおはなし会を行ったことがありますが、現在は、開催に気付かないまま終了していることがあります。年1回の大きな行事であるため、開催を知らせるポスターなどを用いて積極的に周知すれば、参加者も増えると思います。

事務局：市公式 LINE の固定メニューには、図書館ホームページへのリンクがあります。このことも含め、さらに PR していきたいと考えています。

委員：図書館だよりを詳しく読む方は、図書館に積極的に関わろうとする方だと思います。一方、普段はそこまで意識していなくても、行事を知れば参加したいと思う方も多くいます。そのような層にも情報が届くよう、さまざまな周知方法を検討していただきたいと思います。

委員：会議前に図書館内を拝見したところ、整理整頓が行き届き、適切に管理されていることがよく分かりました。職員の皆さんの努力を感じました。
本日は展示コーナーが閉まっていましたが、図書館はクーリングシェルトーの一つでもあります。展示コーナーに椅子を置き、休憩場所として利用できるようにすれば、公園を利用する親子などが立ち寄り、休憩をきっかけに本を借りることもつながるのではないかと考えます。

現在は、借りたい本を目的に来館する方が多いと思いますが、気軽に集える場所を設ければ、来館者同士の交流や本についての会話が生まれ、図書館への親しみや貸出数の増加にもつながるのではないかと思います。

事務局：展示コーナーについては、使用していない時に休憩場所として利用できないか、現在、さまざまな事例を研究しているところです。ご意見ありがとうございます。

委員：図書館の映画会を、最近は月1回鑑賞しています。平日の開催ですが、入場をお断りしなければならないほど多くの高齢者が来場することもあると思います。

高齢者と図書館についてインターネットで調べたところ、非常に興味深い記事があったため、紹介します。

『2025年6月の日本経済新聞に掲載された記事によると、図書館や蔵書が多い自治体ほど、その自治体の要介護高齢者が少ないことが、慶應義塾大学と京都大学の

統計調査で分かった。図書館数と要介護者数には相関関係が確認され、図書館や蔵書の充実といった文化財への公共投資が、健康長寿のまちづくりに有効である可能性を示す結果となった。調査グループは、財政難で公共サービスが削られる現状にあるが、図書館の有用性を改めて見直すきっかけになればとしている。

調査は、慶應義塾大学総合政策学部の佐藤豪竜専任講師を中心に実施、図書館と要介護リスクの関連について調査した初めてのケースになるという。調査には、大規模な社会免疫学研究プロジェクトのデータのうち、北海道から熊本県までの19市町村のデータを利用、中には図書館のない自治体も含まれる。

平成25年をベースに、要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者73,138人を対象に、令和3年3月までに追跡調査した。図書館の蔵書数は、日本図書館協会の平成25年のデータを基にした。調査期間中に16,336人が、要支援、要介護と認定された。グループは、各自治体の図書館の蔵書数と要介護リスクの関連を検証。その結果、図書館の蔵書数が人口当たり1冊増えると、その地域の高齢者の要介護リスクが4%減少することに相当する相関関係が確認された。

同様に10冊増えると約34%減少、さらに町に図書館が1館増えると、要介護者が約48%少ないことが確認されたという』

記事には以上のような内容が書かれていました。図書館は、行政全体の中では予算が配分されにくい分野かもしれませんが、以前から、図書館が充実しているまちは市民の意識が高く、発展していくと聞いたことがあります。

現在の建物は古く、すぐに実現することは難しいと思いますが、高齢者を見据えた図書館づくりも必要です。エレベーターの設置や高齢者向けイベントも必要だと思います。子ども読書活動推進計画の推進も重要ですが、現実的には高齢の利用者も多いと思いますので、そうしたことも見据えた図書館づくりやまちづくりを計画していただきたいと思います。

委員：知立市教育研究会の学校図書館部会では、昨年度、南中学校が学校図書室と連携した授業を行いました。図書室を利用する生徒が少ないという課題から、授業での読み取りをきっかけに関連図書を探し、その本を多くの人に読んでもらうため、紹介動画を作成して発信する授業です。学校図書室だけでなく、知立市図書館とも連携し、紹介ポップを設置しました。

この実践を、8月6日に愛知県の学校図書館の研究大会で発表します。大会では、他市町の取組についても学ぶことができます。それらを参考にしながら、市内小中学校の図書館や学校教育における読書活動をさらに推進したいと考えています。

副会長：本校では今年度日課を変更し、昨年度まで週1回であった朝の読書を週2回としました。担任は多忙ですが、読書の時間は重要であると考えたためです。

今年度は図書推進員も交代し、朝の読書を週 1 回から週 2 回に増やしたことで、子どもたちの意識がどのように変化するか、アンケートを実施したいとの提案がありました。今後、その結果を報告したいと考えています。

もう一点、本校では今年度と来年度に校舎の長寿命化工事を実施します。今年度は南校舎、来年度は図書室のある北校舎を工事します。工事関係者からは、子どもたちが学校に来ていても特別教室は閉鎖して工事ができるため、図書室も閉鎖するとの話がありました。しかし、子どもたちにとって図書室は非常に大切であるため、閉鎖されないよう努めたいと改めて思いました。

会 長：私も皆さんの話を聞き、告知が重要であること、また、実施する以上は内容を充実させる必要があることを改めて感じました。これに関連してお話しします。

知立市八橋町のかきつばた園がある無量壽寺において、八橋売茶翁が今年没後 200 年を迎えます。来年、令和 9 年 4 月 4 日に文化協会主催で「八橋売茶翁 200 年祭」を計画しています。市の委託事業や補助事業ではないため、文化課にも協力をお願いしながら、お茶券や食事を会費制にするなど、必要な経費を確保する方法を検討しています。

この行事を通じて、知立市民に八橋売茶翁を知ってもらい、子どもたちにも、無量壽寺のかきつばたとともに、八橋売茶翁という人物が知立にいたことを伝えたいと考えています。

私は退職後、八橋売茶翁を子ども向けに紹介する紙芝居を制作しましたが、まだ十分には浸透していません。学校に配布する本の制作も考えましたが、さまざまな課題があります。

200 年祭を成功させるには、告知が重要です。チラシやポスターを制作したいと考えていますが、紙代が高騰しているため、文化協会のホームページなど、インターネットを活用した情報発信も必要です。一方、目に触れる場所への掲示も効果的であるため、限られた予算の中で、人を集める方法を十分に検討したいと思います。

今は松並木の松が枯れてしまっていますが、かきつばた園のかきつばたも数年前と比べると段々と良くなってきています。そうしたこともあり、八橋売茶翁がどのような人物で、何をしたのかを知立の子どもたちに伝え、次の世代へ思いをつないでもらうため、紙芝居だけでなく、さまざまな方法を考え、200 年祭を盛り上げたいと思います。

事務局：図書館に着任して 4 か月になりました。それまでは全く異なる業務に従事していたため、図書館の窓口に座り、開館前から並ぶ方をはじめ、日々さまざまな方が本を読みに来館する様子を目にしています。

また、図書館では、多くの人に関わり、さまざまな事業が行われています。利用者

に繰り返し来館していただける図書館にするため、職員が常に考えながら運営していることを実感しました。

私自身も本に触れる機会を得ながら業務に取り組んでいますが、図書館運営には多くの課題があることを感じています。初歩的な話で恐縮ですが、現在の率直な所感です。

事務局：松並木のお話しがありましたが、枯れているのではなく、マツカレハという幼虫が大量発生したため、駆除を行っています。徐々に緑も戻りつつあるため、温かく見守っていただきたいと思います。

また、来年は図書館の開館 40 周年に当たります。これに向け、施設のリフレッシュや利用方法の整備について検討しています。

事務局：皆さまからいただいた意見を可能な限り実現していきたいと考えています。

松並木については、毛虫の幼虫が葉を食べたため、現在のような状態になっています。新芽が出ている箇所もあり、全てが枯れているわけではありません。

ただし、調査の結果、枯れている箇所については危険防止のため伐採する必要がある、対応を検討しています。

ご意見があった中で、アジア競技大会については、教育部の生涯学習スポーツ課も関わっています。知立市も福祉体育館がバスケットボールの練習会場となることから、6 月補正予算により、IG アリーナで開催されるバスケットボール競技の観戦券を購入し、市民を対象に抽選で配布する取組を行っています。申込期限は今週末までです。大変好評ですが、まだ申込が可能であるため、希望する方はお申込ください。スポーツ分野についても、機会があれば PR していきたいと考えています。

方巖売茶の 200 年祭につきましても、皆さま奮ってご参加ください。

展示コーナーにおける休憩スペースについても、先ほど課長が述べたとおり、有効活用できないか検討しています。

事務局：今回は、行事の周知方法について多くのご意見をいただきました。

私は昨年 1 年間、児童向け行事を担当しました。バルーンアートなど、定員を超える申込みがある人気行事がある一方、集客に苦慮する行事もあります。

皆さまからお話しがありましたように、実施する以上は、集客や内容について十分に検討する必要があります。

「図書館のあらまし」からは、年代別に利用者が増減している状況を把握できます。対象を明確にした上で、対策を講じる必要があると感じました。

事務局：貸出数が伸びていることから、職員の取組が成果につながっていると感じています。

本の整理について評価いただき、うれしく思います。職員は毎日書架を整理し、表紙を見せて配置するなど工夫しながら案内しています。

一方、施設が古いため、高齢者への対応を含め、構造上の制約や予算を必要とする課題も多くあります。必要な予算を適宜要求し、可能な範囲で改修を進めたいと考えています。

設備面で不足する部分は、人員などのソフト面で補う必要があります。案内を丁寧に行うなど、利用者にとって分かりやすく、必要な情報にたどり着きやすい図書館となるよう取り組んでいきます。

教育長：冒頭をお願いしたように、人が集まる・魅力ある図書館についてさまざまな意見をいただき、ありがとうございます。

物事を始めるには、夢を持つことが大切だと思います。その夢には、誰のために何をしたいのか、子どもたちをどのように育てたいのかという対象があり、目的があります。その実現に向け、さまざまなアイデアを出し合いながら進めていくことが重要です。本や図書館の文字情報によって、知識や理解が深まり、さまざまなことを伝え、感じ取ることができます。

そのような大きな意味で、図書館は生活を豊かにする基盤となるものだと考えています。今回、さまざまな立場からご意見を頂戴しました。事務局や関係者と相談しながら進めていきたいと思っています。

改めて、夢を持つことの大切さを強く感じました。ありがとうございました。

委員：安城市図書情報館は、利用者数が同規模自治体内で全国第 1 位になったことがあると記憶しています。現在の建物が非常にきれいであることも大きな理由の一つだと思いますが、移転前から利用者が多かったと、安城市の講演会で聞いたことがあります。

市民が図書館を非常によく利用している理由や、どのような取組を行っているのかに関心があります。ビブリオバトルも盛んで、施設内にさまざまな活動に利用できるスペースがあります。

人が集まる図書館とはどのような図書館かを研究することで、知立市にも活用できるヒントが得られると思います。

会長：様々なご意見ありがとうございました。

その他に質問やご意見が無いようでしたら、これで令和 8 年度第 1 階知立市図書館協議会を終了します。

それでは、進行を事務局にお返しします。

事務局：(説明)

6. 閉会